

図・書・紹・介

★当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。  
 【貸し出しのお約束】★一人5冊まで ★期限：2週間

**カウンセリングで何が出来るか**  
 信田さよ子  
 大月書店  
 1,500円(税別)  
 「カウンセリング」というと「聞くこと」と思いがちですが、聞くだけでなくだれにでもできます。「カウンセラーからの質問」こそが一番のポイントと語る著者。著者自身が実際にしているカウンセリングの方法がわかります。



**こわれた愛のかたち**  
 ミチ グラフ社  
 1,000円(税別)  
 夫タクからDVを受けるミチだが、暴力を振るいたくないのに、振るってしまうタクの苦悩も感じてしまい、なかなか別れられない。DV被害者本人のリアルなストーリーです。



**パパの極意 仕事も育児も楽しむ生き方**  
 安藤 哲也  
 NHK出版  
 700円(税別)  
 今をときめくカリスマパパ、安藤哲也さんの子育てパパへの応援本。「仕事も育児も楽しむコツ」や、「ママへの助言」もあり、これを実践すれば「家庭のシアワセ」が手に入りそうです。

貸・室・案・内

●男女共同参画社会の推進に寄与する団体については、使用料が半額になる場合があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

区分	使用料			
	午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:00	一日 9:00~21:00
大研修室 (定員120人)	3,500円	3,500円	3,500円	10,500円
中研修室 (定員60人)	1,600円	1,600円	1,600円	4,800円
小研修室 (定員14人)	800円	800円	800円	2,400円
和室 (8畳)	700円	700円	700円	2,100円



●大研修室●



●小研修室●



●中研修室●



●和室●

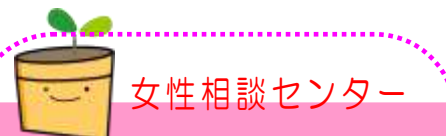
予約方法

- 電話で仮予約をお願いいたします。その後、書面により正式に申請していただきます。
- 電話 **027-224-2211**
- 使用しようとする月の6か月前の月の最初の開館日から受け付けます

交・通・案・内



●お車で越しの際の駐車については、県庁内「県民駐車場」をご利用ください。



女性相談センター

ひとりで悩まずご相談ください

●群馬県女性相談センター  
 (配偶者暴力相談支援センター)  
 電話 (027) 224-4480  
 ・月～金 9:00～20:00  
 ・土・日・祝 13:00～17:00

DV法律電話相談

(事前に電話相談が必要です)  
 ・水 13:00～14:30  
 所在地：ぐんま男女共同参画センター内  
 内容：相談(面接を希望される場合は事前にお電話ください)  
 支援(一時保護先の紹介をおこなってます)

群馬県ぐんま男女共同参画センター通信 No.4

【発行】群馬県ぐんま男女共同参画センター  
 【発行日】平成21年11月17日

・次号のセンター通信は12月下旬発行予定です。

●センター通信について、複数の送付を希望する団体があれば、希望部数をご連絡下さい

ぐんま男女共同参画センター

センター通信No.4

愛称決定!  
 “とらいあんぐるん”

とらいあんぐるん  
 ...ぐんま男女共同参画センター...

当センターに対して、さらに親しみを持っていただこうと、本年7月から8月にかけて愛称を募集したところ、県内外から144件のご応募をいただきました。応募してくださった皆さんの年齢は最年少12歳から最年長87歳まで。審査の結果、愛称は「とらいあんぐるん」に決定しました。受賞者と愛称の理由は以下のとおりです。

受賞者	金井達夫さん(高崎市在住)
愛称の理由	① 参画と△(三角)の語呂合わせ ② 県民、団体(または職場、学校、地域等)、行政の協調 ③ 三角形はもっとも頑丈な構造体 ④ TriとTryの語呂合わせ

当センターのパンフレットを作成しました!



当センターのパンフレットを作成しました(A4三つ折り)。貸し室案内や当センターへのアクセスなどを記載しています。  
 ご入り用の皆さんにはお送りいたしますのでお気軽にご連絡ください。



2009

フォーラム  
レポート

# 全国男女共同参画フォーラムinぐんま

平成21年10月17日(土)、内閣府・群馬県・全国男女共同参画フォーラムinぐんま実行委員会主催の「全国男女共同参画フォーラムinぐんま」が行われました。

## 基調講演

会場：群馬会館ホール

●講師：登山家 田部井淳子さん

「共に歩み、共に輝く～エプロンはずして夢の山～」と題して、女性世界初の7大陸最高峰登頂者である田部井淳子さんによる講演が行われました。「育児と登頂準備の両立は相当厳しかった。しかし、エベレストに行くという意志の方が強かった」など、仕事と家庭両立の苦労をユーモアあふれる語り口で披露しました。



## フェスティバル

フォーラムinぐんま関連事業として、当センターにおいて「男女共同参画フェスティバル」が行われました。



→「男女共同参画フェスティバル」開会式であいさつする内田実行委員長。人権のマスコット、あゆみちゃんも一緒に。



●バザー会場  
各女性団体の物品販売や、栄養相談、脳年齢測定などさまざまな催しでにぎわいました。



●第1分科会「私らしく生きる女(ひと)と男(ひと)～とどげよう、私たちの声を」(企画運営：ぐんま女性会議)左から、コーディネーター 山崎紫生さん(高崎商科大教授)、パネリスト 白石さと子さん(太田市議会議員)、角田早苗さん(元渋川市議会議員)、三島久美子さん(高崎市議会議員)、茂木英子さん(群馬県議会議員)。



●第2分科会「ワークライフバランスって何？～多様性のある社会と女性の活躍推進のために～」(企画運営：ウィメンズウィルぐんま)パネリスト 常木美幸さん(サンデン株式会社)、渡邊良和さん(群馬県職員)、安中啓子さん(社会福祉大学院生)を招いて、実際の体験をもとに意見交換。

両分科会とも活発な発言で盛り多いワークショップとなりました。



●パネル展示  
県庁1階県民ホールで、各女性団体の事業や、国・県・市町村の取り組みなどを紹介するパネル展示を行いました。

## エレベーター工事による休館のお知らせ

### 臨時休館

平成22年2/16(火)～3/19(金)

※ただし職員は出勤しています。

3/20(土)～3/31(水)は、研修室の貸し出しは行いますが、工事終了後の検査確認のためエレベーターは利用できません(階段をご利用いただけます)。ご不便をお掛けしますが、ご理解くださるようお願いいたします。



センター通信について、複数の送付を希望する団体があれば、希望部数をご連絡下さい。

## セミナー レポート

# 『子育てとワーク・ライフ・バランスの実践』

●NPO法人 ファザーリング・ジャパン代表理事 安藤哲也さん

平成21年9月12日(土)、「父親の子育て支援講座」として安藤哲也さんの講演が当センターで行われました。父親もしくは父親候補の男性中心に50人の参加があった本講座の概要は以下のとおりです。

### ■はじめに

僕は昭和37年生まれで、来月47歳になります。小学校6年生と3年生、1歳の保育園児の3人の子供の父親です。サラリーマン時代に9回転職し、2年前までは、六本木ヒルズにある「楽天」という会社に勤めていました。そのときは、事業部長で部下は25人。毎日、夕方6時に帰る部長でした。

楽天時代に、NPO法人ファザーリングジャパンのアイデアを思いついて立ち上げました。2年前からこのNPO法人の代表を専業でしています。

ファザーリングという言葉は、あまり耳慣れないと思います。実は僕がこのNPO法人をつくるときに考えた造語です。[Father + ing] 父親の現在進行形です。

「子供を産み育てやすい」「父親が育児に参加する」「女性が出産時に仕事をあきらめなくてよい」。そんな社会の実現を目指していますが、そのポイントは男性だと思えます。「父親が変われば社会が変わる」という大きな仮説を立てて、事業を立ち上げました。

そして、「せっかく父親になったのだから楽しもう」「子育ては義務ではなくて、楽しい権利なんだよ」ということを皆さんに伝えています。

### ■目指したのはジョン・レノン

僕が目指した父親のモデルは、ビートルズのジョン・レノンでした。僕が14歳の時に、ジョンとヨーコの間の子供が生まれました。そしてジョンは、音楽活動を4年間休止する。今でいう「育児休業」ですね。ラジオから流れるニュースを聞いて「なんてカッコイイだろう」「こんなカッコイイおやじがいるのか」と思いました。

僕は、35歳で最初の子どもを授かったのですが、古いOS(おやじソフト)を追い出すのは難しかったです。追い出すのに3年くらいかかって、やっと肩の力が抜けた育児ができるようになりました。

男性というのは、徐々に父親になっていく、だんだんとOSの入れ替えをする、ということなんです。これがうまくできなくて「離婚」ということになるケースもあります。

### ■婚活の切り札は育児力

これまでの企業社会は、子育て環境を奪っている社会です。特に男は「会社優先」という価値観に縛られてますね。企業のトップではなく、部課長クラスが「男は仕事だ」ということを、まだ平気で言ってます。僕らは、部長や課長のために生きているわけではありません。家族のため、あるいは自分の幸せのために生きているんですよ。

夫婦が二人とも完璧な親なんて、いないんです。子育ては二人が力を合わせて、あるいは地域の力を借りて、楽しくやっていけばいいんです。自分らしく自然体で…。

子育てのために、父親が家や家庭に戻ってくれば、崩壊し

かけた家庭や地域社会が再生します。

これからは、男性の婚活の切り札は育児力です。もはや男の経済力が担保できない社会です。子育てや家事を「楽しんでやる男しかモテなくなるよ」と言ってます。



### ■FJの事業は…

僕が代表を務めるFJ(ファザーリングジャパン)の事業について、主なものをいくつかご紹介します。

- ・ファザーリング・スクール(父親学校)… プレパパを中心に、毎週木曜日に8回連続で開催するセミナーです。
- ・父子家庭支援(フレンチトースト基金)… 父子家庭の問題に取り組んでいます。

- ・FJセミナー… 地方公共団体や企業と一緒に各種セミナーや女性の再就職支援事業を行っています。

- ・ワークショップ… 絵本教室、工作教室、ベビーサイン教室、ママのためのコーヒースクールなどを開いています。

- ・パパごはん教室… プレパパのための料理教室です。子供からの「パパおいしい」の一言でハマります。

- ・FJツアー(父子旅行)… お母さんを参加させず、父と子供だけで行くキャンプです。

- ・パパ検定… 50点満点で、得点に応じて認定しています。インターネットでも受けられます。

### ■笑ってる父親になろう

最後になりましたが、僕がお話したことは、答えではないです。基本です。

完璧さを目指すのではなく、成長を目指せばよいのです。その中から見えてくるものがあります。

明日から、自分でできる小さなことから始めてください。よい父親ではなく、笑ってる父親になりましょう。

### ◎質疑応答

男性：私は単身赴任です。また、会社には単身赴任者が多いのですが、そういう人は、どういう子育てをしたらよいでしょうか。

安藤：こまめに連絡を取ってください。電話やテレビ電話、メールとか、離れていても「繋がっている」ことが大事です。そして「思う」ということです。あの子の父親なんだと常に意識することです。

男性：地域でパパ友をつくる「コツ」は何ですか。

安藤：基本的には「ナンパ」と同じです(笑)。公園などで、軽いテーマから入るんです。難しくしないで。肩の力を抜いて、話しかけてみたらどうですか。ちなみに僕はそうしてますよ。